レさ ぜん自 元 分 気の

をに番

受返号

け事が 取を読

しみ

て上

げ

られると

そうに

プ皆

つ

て

発行者 社会福祉法人楽寿会

特別養護老人ホーム楽寿荘 四倉町上仁井田宇横川67 Te. (0246)32-6381

ンそが施が令

花 ま

し東日十

たとを日

記 迎

念えらいる

のれ部

贈まマ 呈 し

式たさ

て寧は いに大皆

新年

0)

思いを言葉に込め

て

日

っ番し て号た

しごだよに

もも収にで

ま

ま便ずま験

をのた

お方

のいを

日

そ

っ が 症

の

い無

荘

くけて

んら会和

に宝が三

引く開年いじ催一

さ月

ま日

てもら の抽選 でもま・

がまが流

かた利去新年

のう 皆ち さか大令

の用年春が で者の宝明

一族感なり年

め様今た家にうよ昨

ま安も年様染

しり

け感

, るよう ,

気を

引視

きし

¶る人もいら 1着などが入

終

え

た

後

包装を

っし って

やい

りた

「 方 あ は

そ

ŧ

見ら った

て

い心よでには年ま

頂層り不らり経

締皆



・を配り 16

ら ゼ 典 ん

お最っ

般後にご家族はっしゃいまし

た様た

IJ

預

か

つ

束

私

と不思

り 自分の 東棟職員・

色

見 紙

とブ

写 より

ア



してく

れました

わる

写真を撮りました。 最後は鬼と仲良く見受けられましたりながら逃げようとたり 鬼が近づくと 時折「いてて と 北ました。近づくと < なり 笑顔で記 ŧ

れま

今 回

 \Box

ナ

の

影

響

で

で

の

開

元

ま

はた

まニした。ニ

且

火

楽

寿荘

で豆まきが行

<u>わ</u> ま員

パラな声でである。 もきが現れ、今 はいまれ、今

今 年

の青

年 鬼

男

女

を

中

心

豆

見りた

で豆をまいてると「鬼はる」

て外

しは

た。内

ᅶ

い ま福 鬼

は

外

福

は

内





き





http;//www.rakujukai.com









お











と胆さ つ なん そ 字 思 、 れ ゃ でい いぞ 思 まれあい 個るの た。性人 言 なゆ 字っ を で くあ りる

的は異 い丁人

認生

まり

ま月

労

省が

▶ コロナ通信

よう努力していきたい『正しい感染対策 に関

心います。情報を提出

供

穴できる

[報委員

染症は常に変

て すいるま

す。

今に

適

新型コロナウイルス感染症のワクチン

※コロナ禍で、家族の面会が出来ないた め、利用者様の生活状況を詳しくお伝え していきたいと思います。

> な免入を し十国 日初本 にので っし組ンててみを は新は 二〇二一年二月 体が守らられ ワクチ \Box 療 ワ疫 従事 疫 ができ 感接染種 先行接種が しそ 四 よ病の 日 かっ原病 承 厚

て菌原

理が必要です。 見込みで 三週間~四週間の名 基礎疾患を有する方の順接種対象は十六歳以上で の順 間に四 隔をを 症 に 空を日 は進以 ニめ降 り得が体 にら体か てに 回 くれ内ら い ら 齢 の くたに体

種見者

中

日来るよう努力-ソンテクニッム 日頃より 感染 染 の実践訓練を行れから利用者さん 守るために『 正 い着脱

出ウ

がガ







部とそてやム

透ウや まてかの すので ご理解とご協力をお願い致しますがいないできいりけすることになりますが 職員一丸となった 皆様には引き続き面会制限等 ご不便をお当法人と致しましても ご利用者・ご家族当法人と致しません で利用者・ご家族を いっちの 新型変異ないの がるめません コロナ感染もやワクチン接種が開始され コロナ感染もや す感け皆当明イ減 き変も不異や

楽寿会

施の陽こス おけるクラスター 訪問看護ステーション -対応に 設 長 つ 佐 い 藤 て 英

介

濃性と 底員のそ めることが出来ました。 しまいましたが 訪問看護事業の一 族五名 計十三名のクラスター発生 も拘わらず 職員三名 ご利用者五名の接触制限等の感染予防対策を行っの接触制限等の感染予防対策を行っる オープンな建物構造上 特養ホーム オープンな建物構造上 特養ホー

徹 職 員

っこおなでて仕はる護訪 お族でのり消のも切検厳・問 が・いよま毒処出・・い護 は関てうしな置い・・・ は関でする。

て密先いのてす看

を 家

が、職員一丸となって限等。 ご不便をおご利用者・ご家族 致します。